

高知県産業振興計画の推進によって
実現を目指す本県産業の姿

林業分野の施策の展開 ～山で若者が働く、イノベーション創発型の国産材産地～

目指す姿

- ① **川上** 林業適地を中心としてICTやデジタル技術、先端林業機械を活用するスマート林業への転換が進み、伐採後の再造林をはじめ森林資源の再生産につながる事業活動が活発に行われている。
- ② **川中** 原木を安定的に調達する体制が整備され、非住宅分野をはじめ新たな需要への高品質な製材品の供給力が向上している。
- ③ **川下** 住宅への木材利用に加え、非住宅建築物の木材化・木質化に向けた取り組みを強化することにより県産材利用が拡大している。
- ④ **担い手** デジタル化された森林情報の活用をはじめスマート林業を推進し、若者や女性等の多様な人材がいきいきと活躍している。

分野を代表する目標

原木生産量
木材・木製品製造業出荷額等
新 製材品出荷量

出発点 (R4) 73.6万m³ ⇒ 現状 (R5) 70.8万m³ ⇒ R7 80.3万m³ ⇒ 4年後 (R9) 85万m³ ⇒ 10年後 (R15) 85万m³
 出発点 (R3) 249億円 ⇒ 現状 (R4) 266億円 ⇒ R7 227億円 ⇒ 4年後 (R9) 255億円 ⇒ 10年後 (R15) 281億円
 出発点 (R3) 21.8万m³ ⇒ 現状 (R5) 22.3万m³ ⇒ R7 21.8万m³ ⇒ 4年後 (R9) 25.9万m³ ⇒ 10年後 (R15) 29.6万m³

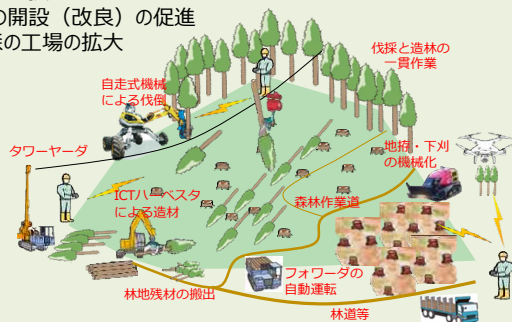
川上

柱1 森林資源の再生産の促進

(1) 林業適地への集中投資

- ① 林業適地の拡大
- ② 林道等の開設（改良）の促進
- ③ 新たな森の工場の拡大

新



(2) 林業収支のプラス転換

- ① 新たな森の工場等における生産性向上につながるイノベーションの推進
- ② 低コスト造林の推進
- ③ 林地残材の利用拡大
- ④ 成長の優れた苗木等の生産強化
- ⑤ 野生鳥獣による食害対策の強化
- ⑥ 再造林の推進に向けた連携体制の強化



再造林を実施した皆伐跡地

(3) 多様で健全な森林への誘導

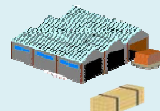
- ① 多間伐による長伐期化や針広混交林化の促進

川中

柱2 木材産業のイノベーション

(1) 大径材の利用促進

- ① 大径材利用戦略の更新と加工技術の普及
・素材生産業者の大径材への対応状況調査
・大径材加工技術の普及
- ② 大径材を利用した製品の開発等
- ③ 大径材加工施設の整備への支援



(2) 需要に応じた製材品の供給体制の整備

- ① 川上・川中・川下間の連携の強化
・コーディネーターを通じた情報連携の円滑化や、事業者間の原木供給のマッチング
- ② 製材加工の共同化・協業化等の促進による加工体制の強化
- ③ JAS認証の取得や施設整備への支援による製材品の高品質化
- ④ 製材工場の環境整備（就業者向け住環境整備等）



高品質な製材品（JAS材）

(3) 森の資源を余すことなく活用

- ① 木質バイオマス発電の推進
- ② 竹資源の利用拡大



木質バイオマス発電所

川下

柱3 木材利用の拡大

(1) 環境に配慮した新たな木材流通の促進

- ① 非住宅建築物等に供給する県産材に新たな価値を創出するため、環境に配慮した森林由来の土佐材を認証する制度を構築



(2) 非住宅建築物等への木材利用の拡大

- ① 木材利用の拡大と環境負荷の低減につながる高知県環境不動産の建築を促進
- ② CLT等を使用した非住宅木造建築物の建築拡大に向けた施主の木材利用に関する理解の醸成
- ③ 万博でつながった非住宅建築向け構造材のサプライチェーンを活用した供給・提案体制の強化
- ④ 室内空間への県産材利用の提案とプロユースとの製品開発
- ⑤ 海外への販売促進（有望なエリアにおける販路開拓への支援）



室内空間への木材利用（施工・提案の事例）

先端技術をフル活用し、
イノベーション創発型の林業・木材産業を展開！

担い手

柱4 多様な担い手の育成・確保

(1) ターゲットマーケティングによる就業促進に向けた取り組みの強化

- ① 趣味に関する専門誌への広告掲載や動画配信など移住希望者等の幅広いターゲットに向けた情報発信の実施
- ② 女性等をターゲットにした「こうちフォレストスクール」の開催や就業相談への対応などの林業労働力確保支援センターと連携した就業促進に向けた取り組みの展開

(2) 高度な技術を有する人材の育成

- ① 林業大学校でのトイレカー導入による研修環境の充実や高校生向けのオンライン出前授業など、入校生の確保に向けた取り組みの展開
- ② 林業事業体における森林クラウドでのデジタル情報の活用やスマート林業の推進に必要な人材の育成を支援

(3) 魅力ある職場づくりの推進

- ① 事業戦略の実践や経営セミナー、起業等に関する勉強会の実施により林業事業体の経営改善に向けた取り組みを推進
- ② キャリアパスの導入など若者等のニーズに合った取り組み等への支援により林業事業体の労働環境改善の取り組みを拡大
- ③ ドローンや電子測量機器の操作研修の実施等、女性就業の後押しが期待できるスマート林業の取り組みを推進

就業の促進



呼び込み

高度人材の育成



新規就業

魅力ある職場づくり



定着